

K E R I N G



## Perss Release

2016年12月14日

### **ケリングは世界中の全社員を対象とした 産前産後休暇、養子縁組休暇、父親もしくはパートナーの育児休暇に関する 最低保障期間を設定します**

---

ケリングは育児支援制度の一環として、2017年1月1日付けでグループ全社員を対象に、個人的あるいは地理的状况に関わらず、最低14週間の産前産後休暇および養子縁組休暇の取得、さらに最低5日間の父親またはパートナーの育児休暇の取得を可能とする制度を導入します。

休暇期間中は、いずれの場合においても100%の賃金が保障されます。  
ラグジュアリー・グループであるケリングは、この取り組みを通じて、職場における機会均等を保障し、より良いワーク・ライフ・バランスを推進します。

---

ケリングは2017年1月1日付けで、世界約60か国で勤務する38,500名以上の社員を対象に、グループならびに傘下のブランドを含むグループの育児支援制度に新しい枠組みを導入します。

ケリングでの就業期間が1年以上であれば、個人的あるいは地理的状况に関わらず、14週間の産前産後休暇および養子縁組休暇の取得、さらに5日間の父親もしくはパートナーの育児休暇の取得が可能となります。その間、いずれの場合も100%の賃金が支払われます。多くの国において、両親の法的な関係に左右されない、産前産後休暇(14週間)に合わせた養子縁組休暇、さらにはパートナーのための休暇制度(5日間)を導入することは、先駆的な取り組みとなります。なお、勤務している国の制度で育児休暇の基準がケリングの制度よりも優遇されたものである場合、その国の制度が適用されます。

ケリングの新しいグループ育児支援制度は、子供の出生時、あるいは養子を迎えるにあたり、より良いライフ・ワーク・バランスを推進し、女性・男性問わず、また個人的状況に関わらず均等な機会を提供し、世界中のグループ社員に同レベルの社会的便宜を確保することを目的としています。

この新しい制度の適用については、ケリングのマネージャーと人事チームが主導し、対象となる社員に休暇取得前後の一貫したサポートを提供していきます。これは、休暇を終えた社員が職場にスムーズに復帰できることを目指したもので、社員の長期的なキャリアアップを継続して図るためのものです。

**ケリング会長兼 CEO/ フランソワ=アンリ・ピノー:**「社員である皆さんは、ケリングのビジョン、ビジネスそして変革を担う中心的存在です。私は、世界中の国や地域において先駆的な育児制度を導入することを大変嬉しく思っています。私にとって重要な意味を持つこの取り組みは、女性・男性を問わず、また個人的状況に関わらず、職場における機会均等を保障することを明示しています」

**ケリング人事担当シニア・ヴァイス・プレジデント/ ベアトリス・ラザ:**「この意欲的な取り組みを通じて、全世界約60か国で勤務する全社員は、より良いライフ・ワーク・バランスを保障する均等な制度を享受できることになりました。全社員に同レベルの便宜を確保し、より持続可能で調和のとれた職場環境づくりを促進することで、グループの企業文化が充足感と誇りの源として浸透することを目指しています」

# K E R I N G



## ケリングについて

ケリングはラグジュアリー部門におけるグローバルリーダーとして、ファッション、レザーグッズ、ジュエリー、ウォッチを専門とする  
選り抜かれたブランドを展開しています。その傘下には、グッチ、ボッテガ・ヴェネタ、サンローラン、アレキサンダー・マックイーン、  
パレンシアガ、プリオーニ、クリストファー・ケイン、McQ、ステラ・マッカートニー、トーマス・マイヤー、ブシュロン、ドド、ジラール・ペルゴ、  
ポメラート、キーリン、ユリス・ナルダンに加え、プーマ、ボルコム、コブラというスポーツ&ライフスタイルブランドも名を連ねています。  
シグネチャーである「empowering imagination イマジネーションをその先へ」のとおり、ケリングは各ブランドが最もサステイナブルな  
方法で可能性を伸ばしていけるように後押ししています。2015年には115億ユーロ以上の収入を達成し、グループ社員の数は  
年度末時点で38,000人に上ります。ケリングはユーロネクスト・パリに上場しています(FR 0000121485, KER.PA, KER.FP)。

## 日本でのお問い合わせ先

株式会社 ケリングジャパン グループコミュニケーション部  
産形 利恵

03 3486 2157

rie.ubukata@kering.com

## ウェブサイト

[www.kering.com](http://www.kering.com)

## ソーシャルメディア

Twitter@KeringGroup

LinkedIn:Kering

Instagram: @kering\_official

Facebook:KeringGroup